



# あげお 議会だより

発行/上尾市議会 編集/議会報編集委員会 〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 電話 048-775-9467



はしご車で緊張ぎみの子どもたち(消防出初式)

## 平成20年12月定例会日程

- 12月2日……開会、新任者の紹介、議案の上程、提出議案の説明
- 12月4日……提出議案に対する質疑、委員会付託
- 12月5日……総務・建設水道常任委員会
- 12月8日……文教経済・福祉消防常任委員会
- 12月10日……追加提出議案の上程・説明・質疑・委員会付託、一般質問
- 12月11日……一般質問
- 12月12日……一般質問
- 12月15日……一般質問
- 12月16日……福祉消防常任委員会
- 12月19日……委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、採決、閉会

## 主な内容

市長の提案説明.....	2 ~ 3 P
委員会の主な審査内容・討論・決議.....	3 ~ 5 P
請願の結果・今議会で決まった人事.....	5 P
提出議案とその結果.....	6 P
市政に対する一般質問.....	7 ~ 11P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと.....	12P

## 12月定例会

# 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・水道事業会計の各補正予算、上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例など13議案を可決



12月定例会最終回採決の様子

12月定例会で審議した議案は、市長提出議案が10件、議員提出議案が6件、委員会提出議案が1件の計17件で、うち13件を原案のとおり可決・異議なき旨答申し、4件を否決しました。また、9月定例会で閉会中の継続審査として決算特別委員会に付託した平成19年度各会計歳入歳出決算認定議案7件も原案のとおり認定しました。

## 市長の提案説明から

### 上尾市一般会計補正予算

今回の補正については、年度も残り少ないことから、緊急性の高い事業への予算配分とともに、既存事業については事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行い編成しました。

その結果、補正額は1億3,812万8,000円となり、累計予算額は514億5,089万4,000円となりました。

主な事業について説明しますと、**総務事業**のうち、駅前広場等維持管理事業と本庁舎・別館維持管理事業は電気・ガスなどの公共料金の改定に伴って、光熱水費を増額計上したものです。

**民生事業**では、主に障害者自立支援等給付金事業などの扶助費について、事業費の決算見込額と当

初予算額との差額を補正するものです。

**農林水産事業**では、土地改良施設維持管理事業は、平方土地改良区の揚水機の修繕に対する補助金を計上しました。

**土木事業**では、上尾道路周辺整備事業は、上尾道路により分断される大字吉丁目地内の市道1058号線の東西横断道路について、事業主体である国が工期を2年間延長し、本年度分の事業を縮小したことによって、国への負担金を減額するものです。

**教育事業**では、小・中学校就学援助金などの扶助費について事業費の決算見込額と当初予算額との差額を補正するものです。調理場備品等整備事業は、中学校給食での食器などの消耗品と、共同調理場の厨房機器の各種修繕経費を増額計上しました。

歳入については、今回の補正で



12月定例会で提案説明する市長（前）

特徴的な事項を説明します。

地方特例交付金の地方税等減収補てん臨時交付金は、本年4月の道路特定財源の暫定税率の失効期間中における地方道路譲与税、自動車取得税交付金の減収を埋めるため新たに交付されるものです。

次に、地方交付税ですが、地方税等減収補てん臨時交付金の創設により普通交付税の再算定を実施した結果、増額交付されることとなったものです。

この結果、先の歳出事業を全て実施いたしましたも、なお、歳入が歳出を上回る結果となったことから、この余剰分を財政調整基金に積み立てるものです。

### 上尾市国民健康保険特別会計補正予算

主に拠出金の額が決定したことに伴い、事業費の決算見込額と当初予算額との差額を補正するものです。

### 上尾市介護保険特別会計補正予算

職員人件費について、決算見込額と当初予算額との差額を補正するものです。

### 上尾市水道事業会計補正予算

収益的収入および支出については、収入では営業収益、支出では営業費用および特別損失を増額するものです。

次に、資本的収入については、固定資産売却代の増額補正です。なお、収支の不足額は損益勘定

留保資金で補てんするものです。

### 条例その他

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、地方税法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う必要があるため提案するものです。

公の施設の指定管理者の指定については、上尾市健康プラザわくわくランドの管理に關し、指定管理者を指定したいので、定めるところにより提案するものです。

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、健康保険法施行令の改正に準じて出産育児一時金の支出額に關し、加算措置を設けるほか、第二子以降の出産に係る出産育児一時金の支給要件を改めたいので提案するものです。

### 議会を傍聴してみませんか

議会は公開となっていますので自由に傍聴することができます。本会議場の傍聴席は一般用56席、車いす用2席のほか難聴者用イヤホンも備えてあります。議会開会中に市役所議会棟5階の傍聴ロビーまでお越しください。

議会の日程や委員会の傍聴など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局 ( ☎775-9467 )

### 委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

### 文教経済常任委員会

### わくわくランドの指定管理者を指定

メモ 上尾市健康プラザわくわくランドの平成21年4月1日から平成24年3月31日までの指定管理者を財団法人上尾市地域振興公社に指定するもの。

指定管理者制度：公の施設の管理運営主体を、市の出資法人、公共的団体、民間事業者、NPO法人、ボランティア団体などに委ねることができるもの。

委員 わくわくランドの利用者数の増減について伺いたい。

答 平成19年度は総入場者数17万9,040人であり、近隣に日帰り温泉などが数カ所できたこともあり18年度に比べて3・28パーセントの減少である。

委員 近隣に同じような施設が増えているというのだが、利用料金を下げるなど対策を検討して

いるのか伺いたい。

答 今年の夏にアンケート調査を行った結果では、501人中296人が利用料金は普通であると回答し、高いという人が64人、安いという人が128人であり、料的には一般的なものだと思うているが今後検討していく。



上尾市健康プラザわくわくランド

### 福祉消防常任委員会

### 出産育児一時金を最大3万円の増額

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年1月1日から産科医療補償制度が創設されたことにより、被保険者が出産に際して負担する費用が増加する場合は多く見込まれることから、3万円を上限として出産育児一時金の支給額を増

額するよう改めるもの。

産科医療補償制度：分娩に關連して発症した脳性まひの子およびその家族の経済的負担を補償する。脳性まひ発症の原因分析また将来の予防。これらによる紛争の防止・早期解決、産科医療の質の向上を目的に創設された制度。

委員 第一子については現行の35万円から38万円を上限に増額するようだが、第二子以降の増額はないのか伺いたい。

答 産科医療補償制度の費用が上乘せられて医療機関から請求された場合、その分を出産育児一時金に上乘せするものである。第二子以降は現状で50万円であり費用の枠内に入っているため増額は行わない。

### 建設水道常任委員会

### 東部浄水場前交差点に右折帯を設置するための用地を売却

予算メモ 北本県土整備事務所による県道さいたま菖蒲線の東部浄水場前交差点の右折帯設置のために、東部浄水場の敷地の一部を県に売却するもの。

委員 市民からも要望の多い場所だと思うが、計画の概要について伺いたい。

答 現在の道路は約8メートルであるが、約13メートルに拡幅し、

右折帯と2・5メートルの歩道を設けると聞いている。

委員 売却額はどのようにして決まったのかを伺いたい。

答 県で不動産鑑定を行い、その鑑定額で1平方メートルあたり2万8,000円となっている。



県道さいたま菖蒲線の東部浄水場前交差点

総務常任委員会

補正予算 文化センターの移動用音響制御装置の借り上げ料を計上

予算メモ 文化センターの大ホール用の音響制御装置が故障したため、ホワイエなどで使用している移動用の音響制御装置を大ホール用に設置したことにより、ホワイエ用の音響制御装置の借り上げ費用を計上。  
委員 今回の措置は一時的なものなのか伺いたい。

答 一時的のものである。大ホールの音響機器は高額のため補正ではなく当初予算で考えたい。

決算審査

平成19年度決算議案7件を認定  
決算特別委員会では、平成20年9月定例会で閉会中の継続審査事項として付託された、平成19年度一般会計、特別会計(5件)、水道事業会計の各決算認定議案7件を、10月2日から10月15日までの間に、5日間開催し慎重に審査を行いました。審査にあたっては、審査方針として次の3項目を決定しました。

予算執行の適合性、予算に対する収入・支出の妥当性、次年度以降の改善点等について。

以上の点を中心に審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり認定しました。

なお、委員長より「平成19年度は所得税から個人住民税への税源移譲が行われた。地方公共団体にとって税収の確保は今後ますます重要な課題となる。上尾市においてもコンビニ収納の実施が予定されているが、更なる納税方法の拡大、徴収率の向上、公売の実施など自主財源の確保に努めるとともに、新たに制定された地方財政健全化法の趣旨を踏まえ、効率的、計画的な行財政運営を推進しつつ、市民のニーズに的確かつ適切

決議

12月定例会で決議を1件を可決

「仕事と生活の調和」が実現した社会の構築に関する決議

近年、人々のライフスタイルや価値観が多様化する中で、働き方や子育て支援などの社会的基盤は、必ずしもその変化に十分対応できるものとなっていない。

政府と労使間の合意の下、昨年12月に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定され、「仕事と生活の調和」は重要な課題となっている。

上尾市では「仕事と生活の調和」を推進するため、市民や企業などに対し、これまで様々な取組や支援を行ってきた。しかしながら、国内外の企業間競争の激化や産業構造の変化等に伴う非正規雇用の増加と、正規雇用に見られる長時間労働の高止まりといった働き方の二極化は、一層進行している現状にある。

よって、上尾市は、「仕事と生活の調和」が実現した社会を構築するため、憲章及び行動指針を踏まえ、更なる具体的な取組を推進するよう強く要望する。

以上、決議する。

平成20年12月19日

上尾市議会

に込えられるよう、引き続き最大限の努力を期待する」との要望がありました。

委員会の名称・所管の一部を変更

上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

議会運営委員会から上尾市議会委員会条例の改正案が提出され、全会一致で可決されました。

主な改正点は、福祉消防常任委員会は福祉に関する付託案件(健康福祉部および市民部の所管)が多いため、消防に関する付託案件については、建設水道常任委員会に所管事項に変更するものです。

今後は、総務常任委員会、文教経済常任委員会、建設水道消防常任委員会、福祉常任委員会の4委員会に名称変更されます。

なお、委員会の正副委員長および構成委員については従前のお

反対討論

要旨

平成19年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。

歳入について、市民税は定率減税の廃止や住民税のフラット化で、市民にとって収入は増えないのに税制を変える事で大増税が行われた。その一方で証券税制優遇措置の延長により一部の企業や富裕層への減税は温存されたままである。こうした不公平な税制を見直すことこそ市税を増やし、暮らしに還元することにつながると考えるので、定率減税の廃止による市民税増税に反対する。

自衛官募集事務委託金は、子供たちを戦場に送ることにつながる。不動産売却収入は、ばんだい上

歳出について、市役所はその地域で働く人たちにとって、給与の面でも基準となるものであり、職員給与の引き下げには反対する。人事評価事業は、住民サービスを評価し、それを給与に反映させて成果を求めるのが明確ではなく、職員の仕事に対する意欲をそぐものであり反対する。

同和関連施策は、国が同和対策に関わる特別法を完全終結して5年が過ぎているが、税の減免の経過措置、運動団体への補助金、研修事業などが継続されている。事業の存続そのものが差別を温存す

るものであり税の公平性からいっても同和对策事業はやめるべきであり反対する。

国民保護計画推進事業は、核攻撃やテロに対する有事を想定し軍事を最優先する内容の計画であり国民を有事対策に巻き込むものであり反対する。

後期高齢者医療広域連合事務事業は、高齢者の医療差別を広げる制度で、廃止を願う国民の声にこたえるべきであり反対する。

西貝塚地区連絡協議会や西貝塚環境センター合同協議会の視察に職員2人が随行するための費用について、職員が随行しなくてはならない性質のものとは思えず不必要な支出であることから反対する。

上尾駅整備対策費は自由通路拡幅整備委託料、駅舎支障移転負担金、店舗移転補償金など、必要以上の自由通路の拡幅を行い駅舎改

修についても大半の費用を市民の税金で負担するものである。上尾中山道東側地区市街地再開発事業についても経済の先行きが不透明な状況で、建設材料の高騰やマンションの売れ行き不調などにより計画の見通しが立っていないうえ、交通渋滞やビル風などの問題もある。駅改修や東側再開発事業は借金を増やし後世に大きな負担を残すものであり反対する。

教育に関する3つの達成目標推進事業は、県の指示に従って一律のやり方をする中で、教師と生徒の独自の努力や取り組みが損なわれることが問題であり、学力向上支援事業は、児童・生徒の個々の状況や学校の状況を無視し、一律にテストを行うことは、差別・選別を生み出しかねないもので、真の学力向上につながるものとは考えられないことから反対する。

市が派遣業者に委託するということは、経費の削減というメリットがあると思っていた。平成19年

9月議会で直接雇用に切り替える予算が計上されたが、派遣費用の削減は696万8,000円であり、人件費の増額は675万2,000円であった。直接雇用の方が安いのは、目的からするとおかしなことであり反対する。

特別会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。  
窓口業務に派遣労働を導入した事は、県労働局からも派遣法違反が指摘され、平成19年7月で廃止され直接雇用となったが、こうした違反が行われた背景には定員適正化計画による人員削減が進められてきたことがある。市民サービス向上と若い人たちの働く機会を保障するためにも定員適正化計画に反対する。

図書館カウンター業務の民間委託について、図書館構想やビジョンに基づいて専門的な職員を配置して開館時間の延長や市民サービスの充実が求められているので、委託業務には反対する。

平成19年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。  
窓口業務に派遣労働を導入した事は、県労働局からも派遣法違反が指摘され、平成19年7月で廃止され直接雇用となったが、こうした違反が行われた背景には定員適正化計画による人員削減が進められてきたことがある。市民サービス向上と若い人たちの働く機会を保障するためにも定員適正化計画に反対する。

市が派遣業者に委託するということは、経費の削減というメリットがあると思っていた。平成19年

9月議会で直接雇用に切り替える予算が計上されたが、派遣費用の削減は696万8,000円であり、人件費の増額は675万2,000円であった。直接雇用の方が安いのは、目的からするとおかしなことであり反対する。

公の施設の指定管理者の指定について、次の点で反対する。  
指定管理者は、国の指針によれば、サービスが向上する、経費が削減されるなどの効果があるとされる。指定管理者を引き続き指定する場合には、サービスの向上や経費の節減がどうなっているか、また、どのような基準でこれを審査しているのか、きちんと報告すべきである。他市の指定管理者制度を見てみると、こういった経過が市民に公表されている。以前からやっていたから引き続き指定するということに反対する。もう少し審議をして市民にもオープンにしていくべきである。

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、次の点で反対する。  
産科医療補償制度はいろいろ問題点が指摘されている制度である。いろいろ計算したが掛金3万円が適切かどうかはつきりしない。民間の損保会社6社が運用するが仕組みそのものが明らかでないし、収支やその余剰金などのように使われるのか、いつさい明らかになされていない。国民健康保険

税を明確でない制度に対して支出することに反対である。

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て12月19日の本会議で採決し、1件を採択しました。

採択された請願  
保育・子育て支援の充実を求める請願  
上尾市中妻 2 8 13  
かたくり保育室内  
代表者  
上尾市家庭保育室連絡協議会  
代表 糟谷 順子 氏  
他1,768人

税を明確でない制度に対して支出することに反対である。

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て12月19日の本会議で採決し、1件を採択しました。

採択された請願  
保育・子育て支援の充実を求める請願  
上尾市中妻 2 8 13  
かたくり保育室内  
代表者  
上尾市家庭保育室連絡協議会  
代表 糟谷 順子 氏  
他1,768人

人権擁護委員に  
神田 道子 氏  
國嶋 一矩 氏  
小島 勝 氏  
人権擁護委員 神田道子氏と國嶋一矩氏の任期は平成21年3月31日で満了となるため両氏を再び候補者として推薦することについて、また委員の定数の増員に伴い、新たに小島勝氏を推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

### 動物議員連盟が 県動物指導センターなどを視察

平成20年12月17日、動物と共生する社会を推進する議員連盟が設立後初めての視察研修を実施しました。

視察先は埼玉県動物指導センター（熊谷市）で、この施設は犬猫の引き取りや、動物愛護の普及啓発、動物の正しい飼い方の普及啓発、アニマルセラピーボランティアなどを業務としている県の施設です。

視察した議員は、初めに当センターの業務の説明を受けた後、広い敷地内の施設を視察し、保護されている犬猫などの動物の様子を観察しました。

また行き帰りのバスの中では、同行参加していただいた上尾伊奈獣医師協会の先生方から、犬猫の飼い方や保護の状況、鳥インフルエンザの状況などについて講義をしていただきました。

参加した議員からは、「動物指導センターでは現場を見せていただき、バスの中では興味深い話も聞けて有意義だった」などの感想が寄せられました。



動物指導センターで説明を受ける議員

産科医療補償制度はいろいろ問題点が指摘されている制度である。いろいろ計算したが掛金3万円が適切かどうかはつきりしない。民間の損保会社6社が運用するが仕組みそのものが明らかでないし、収支やその余剰金などのように使われるのか、いつさい明らかになされていない。国民健康保険

人権擁護委員 神田道子氏と國嶋一矩氏の任期は平成21年3月31日で満了となるため両氏を再び候補者として推薦することについて、また委員の定数の増員に伴い、新たに小島勝氏を推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。  
神田 道子 氏 / 66歳  
住所は上尾市本町1 2 4  
國嶋 一矩 氏 / 64歳  
住所は上尾市大字平方575 1  
小島 勝 氏 / 63歳  
住所は上尾市谷津1 7 10

### 今議会で決まった人事

### 請願の結果

## 平成20年12月定例会提出議案とその結果

## 閉会中の継続審査のもの（7件）

= 賛成 × = 反対 = 賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第54号	平成19年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		×			
議案第55号	平成19年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		×			
議案第56号	平成19年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定					
議案第57号	平成19年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定					
議案第58号	平成19年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定					
議案第59号	平成19年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定					
議案第60号	平成19年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定					

## 市長提出議案（10件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第88号	平成20年度上尾市一般会計補正予算（第3号）	原案可決					
議案第89号	平成20年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決					
議案第90号	平成20年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決					
議案第91号	平成20年度上尾市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第92号	上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第93号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決					
議案第94号	上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申					
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申					
諮問第6号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申					

## 議員提出議案（6件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第28号議案	「仕事と生活の調和」が実現した社会の構築に関する決議	原案可決		×			
議案第29号議案	安心の介護サービスの確保を求める意見書	原案可決					
議案第30号議案	消費税の食料品非課税を緊急に実施することを求める意見書	原案否決	×		×		
議案第31号議案	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書	原案否決	×		×		
議案第32号議案	県立小児医療センターの時間外負担金を導入しないよう求める意見書	原案否決	×		×		
議案第33号議案	雇用と失業者対策の抜本的拡充を求める意見書	原案否決	×		×		

## 委員会提出議案（1件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
委第2号議案	上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					

## 請願（1件）

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
請願第10号	保育・子育て支援の充実を求める請願	採 択					

新政 = 新政クラブ（13人）、共産 = 日本共産党上尾市議会議員団（5人）、公明 = 公明党上尾市議団（5人）、民主 = 民主クラブ（3人）、無会派 = 会派に所属しない議員（4人）

# 市政に対する一般質問

## ここが問題 そこが聞きたい

### 行財政一般

#### 市長マニフェストの実現は

**問** 平成21年度予算編成方針の中で「市長マニフェストなどの重要行政課題の実現のために必要不可欠となる政策経費を確保する必要がある」としているが、マニフェストの内容と実現の方向性について伺いたい。

**答** 市長マニフェストでは市長任期中の4年間のうちで短期的に実行する施策と長期的に実行する施策に区分した「8つのキラリ」として次の項目を掲げている。「スリム化と透明性でスピーディーな市役所に」、「高齢者の生きがいや障害者に活躍の場を」、「次世代を担う力を育てる」、「緑や環境美化を図る」、「商業・工業・農業を守り育てる」、「市民参加や協働を推進する」、「子育て世代を

応援する」、「医療費の充実に図り安心をお届けする」である。すでに実現した事業もあるが、引き続き無駄な財政支出を厳しく抑制しながら取り組んでいきたいと考えている。

#### 上尾運動公園が市に移管された場合の利点は

**問** 県では熊谷スポーツ文化公園内に競技場などが建設されたことから、上尾運動公園の県から市への移管について正式に協議要請があった。市では平成19年6月に移管検討会議を設け協議しているとの説明があった。県の基本的な考え方としては、耐震工事を平成19年度に完成させ、敷地や施設については無償譲渡の意向と聞いたが、運営母体が上尾市になった場合は市民にとってどのような利点があるのか伺いたい。

**答** 県立上尾運動公園が市に移管された場合の利点は、現在広域利用されている陸上競技

12月定例会の一般質問は、12月10・11・12・15日の4日間行われ、19人の議員が登壇し、市政全般52項目にわたって市当局の見解を求めました。また、4日間で270人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。（各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました）

場、体育館、サブグラウンド、テニスコート、駐車場などの施設が上尾市民の利用を中心とする施設として運用することが可能となり、より市民スポーツの振興が図られる。

特に体育館は、土日を中心に多くの市民に利用されている西側の市民体育館に加え、東側に新たに体育館が生まれ、東西でバランスのとれた運動施設の整備が進むこととなる。また、陸上競技場のフィールド内を多目的に利用できるよう県に改修を要望している。



上尾運動公園の陸上競技場

#### ホームページに指定管理者の情報を

**問** 指定管理者制度は、市が包括的な導入方針を決め、導入判断基準や指定管理者をどう使うのかなどを明確にすることが必要だと思う。そして、その内容や決定した過程をホームページに公表するべきだと思うが考えを伺いたい。

**答** 指定管理者制度は平成15年9月の地方自治法の改正に伴い導入した。当時は、公募の是非については、個々の施設の事情を考慮し施設ごとに対応していたが、平成22年度に多くの施設が指定期間を終えることもあり、また、自治体によっては指定管理者制度導入方針を策定し、ホームページで公開しているところもあるので、他市の事例を研究して公表について検討していきたい。

#### 定額給付金支給の趣旨や目的などは

**問** 定額給付金支給の趣旨や目的は何か。また地方分権の中で、定額給付金について市町村がどこまで判断と決断をすることができるのか。さらに基本的に

定額給付金支給の趣旨や目的は何か。また地方分権の中で、定額給付金について市町村がどこまで判断と決断をすることができるのか。さらに基本的に

12月  
定例会の

#### 一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

橋北 富雄

水道事業

上尾駅整備計画

嶋田 一孝

平成21年度当初予算編成

まちづくり

田中 元三郎

世界同時不況による上尾市の影響

交通安全対策

大谷地区の都市計画

深山 孝

ぐるっとくん無料化月間

ホームページの充実

行財政問題

消費者問題

佐野 昭夫

定額給付

災害対策上の道路整備

箕輪 登

学校図書館支援

市内スポーツ施設上尾運動公園

自治体の「事業仕分け」

所得制限は設けないそうだが、上尾市はどう考えているのか伺いたい。

**答** 定額給付金は、景気後退下での住民の不安に対処するため、生活支援を行うとともに、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資することを目的とする。内容は、1人当たり1万2,000円、65歳以上と18歳以下には8,000円を加算して支給するもので、今年度内の給付開始を目指すこととされている。

市町村の判断と決断については、全国で統一的に実施することが想定される事業であり給付金の支給開始日などを除き、市町村が独自で判断し実施できる部分はほとんどない。所得制限については、全国の自治体からも「混乱を避けるために設けるべきではない」との声が高まっており、11月28日に総務省から示された素案では、「所得を基本とする給付の差異を設けないことを基本とする」と示されたところであり、市としては所得制限は設けない方向で考えている。

### エレベーター内の防災対策は

**問** エレベーター内の防災対策として、エレベーターに閉じ込められて救出されるまでの

間の緊急用の水や食料、簡易トイレなど身近な防災グッズも含めた備蓄ボックスの設置が必要だと思う。大規模な地震では救助活動も時間がかかると予想され、まず公共施設からそういう整備を考えられないか伺いたい。

**答** 市の公共施設におけるエレベーターは、市役所庁舎の4基をはじめ文化センターなど14施設に19基設置されている。市役所庁舎のエレベーターは、地震が発生した場合、二次災害を防ぐため走行中に速やかに最寄りの階へ着床し、戸が開いて運転が休止するなど、乗客が長時間閉じ込められることは構造上想定されていない。しかし、万が一の場合として機械の故障などで乗客が長時間閉じ込められる事態が発生した場合、その対策としてエレベーター内に飲料水や簡易トイレなどの備蓄ボックスを備える必要があると考える。他の施設も含め防災担当部署など関係各課と協議しながら検討していきたい。

### 環境・産業

#### 上尾製品のブランド化事業は

**問** 上尾製品のブランド化事業の推進は、市内に多くの

特殊技術を持った中小企業があり、このような企業を掘り起こし、上尾製品としてサポートすることにより全国に発信していくことが産業振興の観点で重要なことだと思う。そこで、上尾市においてのブランド化事業の取り組み状況を伺いたい。



「あげお工業フェア」の様子(市民体育館アリーナ)

**答** 市内には一般にあまり知られていないが、市場ではかなり知名度の高い製品を作っている企業もある。その企業の名前をどのように世間にアピールできるのか大きな課題であると認識している。市内企業の紹介と企業同士がお互いをよく知ってもらうための異業種交流や商談機会の提供の場として、「あげお工業フェア」を開催し、今年で20年目を迎えることができた。

近年は、高度情報化社会の発達によりインターネットなどを利用する企業も多くなっていることが

ら、情報の提供や共有化を図り「あげお工業フェア」を充実させていきたい。「あげお工業フェア」の実行委員会を中心として上尾商工会議所や各種団体と上尾の製品のブランド化が認識されるよう検討していきたい。

### 雇用を守る取り組みを

**問** 今年10月から来年3月までの解雇などは3万人とされ、さらに下請け企業などへの影響は来年から本格的に起きると言われている。中小企業の資金繰りを救済することや、そのもとで働く労働者の雇用を守ることに力を尽くすことが求められている。市として、できるだけ雇用の維持に努めることを企業に要請するとともに雇止めによって住居を失った労働者の切実な要求に応えられるよう生活支援、再就職支援の相談窓口を開設することを求めるが見解を伺いたい。

**答** 現在の厳しい雇用失業情勢における緊急雇用対策としては、市と大宮ハローワーク、県央地域振興センターおよび雇用・能力開発機構埼玉センターが一体となり、失業給付をはじめとする職業相談など雇用についての総合的な相談会を平成21年2月に開催する準備をしている。

近年は、高度情報化社会の発達によりインターネットなどを利用する企業も多くなっていることが

- 武藤 修
  - ・ 市民の移動の権利を守るための公共交通「ぐるっとくん」の充実を
- 長沢 純
  - ・ 安心な福祉の街づくり
  - ・ 快適な公園
  - ・ 上尾運動公園
- 道下 文男
  - ・ 財政健全化施策
  - ・ 障害施策
  - ・ 学校ファーム
- 新井 金作
  - ・ 中小企業活性化施策
  - ・ 丸山公園整備
  - ・ 防災計画
  - ・ 上尾道路
  - ・ 上尾駅改修にともなう西口整備
- 武藤 政春
  - ・ 地域リサイクル
- 町田 皇介
  - ・ 上尾市の行財政運営
  - ・ 学校教育を支えること
- 井上 茂
  - ・ 北上尾周辺地区の整備計画
  - ・ パスポートセンターの開設
  - ・ 上尾運動公園西側区域の埼玉県からの移管問題
  - ・ 発達障害児の支援策の取り組み

地域の労働者の雇用の確保と安定のため、上尾市地域職業相談室の相談業務の充実に努めるとともに、引き続き国、県および関係団体と連携を図りながら必要な施策を進めていきたいと考えている。

## 農業を支援する政策を

**問** 農業をやりたい人、ともに耕作できる人を増やすために農業体験農園を提案する。農業体験農園は農家の高齢化、人手不足を補い、農業をやりたい消費者と農家が手を結んで農業をするというもので、種まきや管理などを農家の指導のもとに行い、その農産物を消費者が持つて帰るというものである。農家が消費者に農業指導を行うことにより、素人でも品質の良いものを作れるなど消費者の農業技術が向上する。

**答** 体験農園は、農園利用方式といわれ、農家が指導しながら農作物を作る体験ができる。大石地内で行われているが、市としても開設に協力してきた。また、市内では平成18年から企業を定年された方々で「農業をやってみよう」との考えを持つボランティア集団ができ、大石地区の

農業集団との共同作業が始まっている。農業について教えてほしいという新規就農者のための指導者の確保など、農業後継者育成確保推進対策協議会などと連携を図り、農業に携わる人を一人でも多く増やしていきたい。

て伺いたい。

**答** 今回の逆有償の事態は、鉄類の需要の冷え込みから市況価格が暴落したことに伴い、空き缶や鉄類をメーカーに納入する前の不純物除去や成形処理費として問屋に金銭を払うということが生じたものである。

過去の実例としては、平成5年当時に金属類の逆有償の取り扱いが発生したことから市の負担により対応したケースがある。

これについては市は、売り払いに関する今回の取り扱い趣旨を説明した文書と11月時点の市況価格をもとに算出した例を対比させた文書をすべての団体に送付したほか、区長会連合会理事会などの会合に出席し説明した。

今後も引き続き、団体の活動を支援するため、回収した資源物の収集運搬の費用を負担するほか地域リサイクル事業報償金交付要綱に基づき、回収した資源物のうち、新聞、雑誌、段ボールの回収量に応じキログラム当たり2円を乗じて得た額を別に報償金として交付する予定である。

## 地域リサイクルの今後は

**問** 地域リサイクルは、回収する資源物の売り払いに關し、金属類、特に鉄は資源物売却価格が下落し、逆有償の動きとなっている。本年度については従来どおり市が負担するが、平成21年度以降は実施団体に負担を求めるという文書が配布された。今回の逆有償の動きに対して、過去の事例と今後の市の取り組み方について

て伺いたい。



ボランティアによる種まき後の土かけの様子(領家地区)

度は、行政と市民の協働で進める清掃美化活動で、団体、エ

**問** アダプト・プログラム制度の導入は

アダプト・プログラム制度は、行政と市民の協働で進める清掃美化活動で、団体、エ

アダプトとは「養子縁組をする」という意味であり、市民が里親となり公共スペースの美化運動に参加していただき、市は美化活動の支援を行なうという制度である。上尾市地域公園管理協定に近い制度であり、既に「ガーディアンズ」という団体と「かわらぶき公園」について協定を結び、この制度の目的を十分に理解して非常に行き届いた公園管理をしていたらいい。

今後、ボランティア活動の市民への周知、募集、リーダーの育成などの支援を行うことで多くの市

リア、内容が明記されたサインボードを活動場所に掲げ、誰がこの場所を清掃しているかが一目で分かるものである。市民と行政の合意に基づいたすばらしい制度だと思いが導入について伺いたい。



ガーディアンズによる清掃美化活動(かわらぶき公園)

・公園に健康遊具の整備を

・交通安全対策

・原市沼の古代蓮

・社会保障の充実を

秋山 もえ

・子育て世代への支援の充実

・安心して住みつけられる

公園(UR)住宅を守って

中村 清治

・リサイクル事業と福祉事業

(作業所の提供)

・スポーツ施設の充実

・だんらんの家事業の充実

・まちづくり

秋山 かほる

・市の福祉政策

・市の委託事業

糟谷 珠紀

・2009年度の予算編成

・教職員の勤務実態

西村 テル子

・むさしのグランドホテル付近の交通安全対策

・安全な食料確保と自給率向上のために

・上尾市地域福祉計画の推進

民が参加しやすくなる制度となるようにしていきたい。

### ぐるっとくん無料化 月間の結果と今後は

**問** 市制施行50周年記念事業として実施されたぐるっとくん無料化月間は、近所のお年寄りから施策に対してのお褒めの言葉をいただいた。

**答** 今回の無料乗車事業は市制施行50周年記念敬老事業として、市内在住の65歳以上の市民を対象に9月1日から9月30日までの1カ月間実施した。

結果については、実施月1カ月間の乗車総人数は43,077人で、そのうち65歳以上の高齢者は13,427人であった。費用は、運賃100円の人数分で134万2,700円とPR用のポスターの印刷代を合わせ138万4,070円である。しかし、9月の利用者が前年度より6,714人増加し、また10月以降も増加していることから、プラス効果も大きかったと受け止めている。

寄せられた意見は、「来年も実施してほしい」「実施事業の広報をもっとやってほしい」など内容だった。

来年以降の実施については、関係課と協議し検討のうえ決定する予定である。

### 北上尾駅東口駅前広場のぐるっとくんの待避所は

**問** 北上尾駅東口は、整備された駅前広場にバスの乗降所も設置され乗り入れができるように協議していくとされている。

現在、封鎖されているロータリーの中のスペースは、バリアフリー工事終了後、ぐるっとくんの待避所として運用していくと考えているのか。また、運用の予定が具体的に決まっていれば併せて伺いたい。



北上尾駅東口駅前広場の封鎖されたスペース

**答** 北上尾駅東口駅前広場は平成3年度に事業認可された原新町土地区画整理事業として整備をしている。ぐるっとくんの

待避所は、整備された駅前広場にバスの乗降所も設置され乗り入れができるように協議していくとされている。

北上尾駅東口への乗り入れについては、平成21年度早々の乗り入れに向け準備を進めているところである。その際に東口駅前広場の中央付近の封鎖されたスペースについては、バス待避所として利用する予定のほか、非常時の公共的利用も考えている。

### 地域公共交通活性化 法とぐるっとくんの 関連は

**問** バスルートの現地調査に基づき代替交通を利用するなど、デマンド方式による有効な企画、実行に向け、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が施行された。その内容とぐるっとくんとのかかわりについて伺いたい。

**答** 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律では、市民ニーズに応えられる効果的な公共交通を目指して、自治体や鉄道・バス事業者などで構成される協議会による「地域公共交通総合連携計画」の策定やその実証運行を国の補助制度を用いて実施できるようにになった。

国の補助は、計画策定は定額であり、実証運行は経費の2分の1である。

この制度をぐるっとくに適用させる場合は、協議会を設置し事業計画を作成することが条件である。

り、民間のバス路線を含めた交通体系の再編成などに活用できると思われる。この法律が施行されて1年余りであり、今後の状況を見守りたい。

## 都市整備

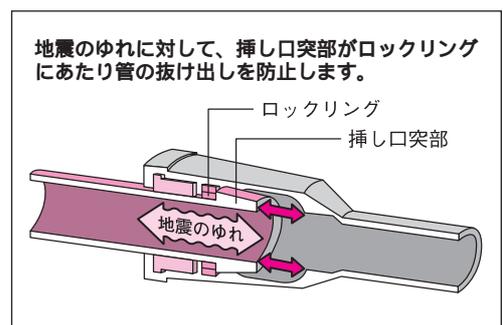
### 水道ビジョンから見た 老朽管の更新計画 は

**問** 老朽管の更新計画は、地域水道ビジョンにより安全で快適な水の供給を行うことや災害時に安定した供給を行うことを目的として進められていくものと思うが、どのような計画になっているのか伺いたい。

**答** 老朽管の更新計画は地域水道ビジョンの中で震災対策の最重要課題の一つとして位置付けられている。

平成19年度末までの配水管の総延長は、約738.6キロメートルでそのうち延長約710キロメートルが铸铁管であり、配水管全体の約96パーセントとなっている。既に埋設後、耐用年数とされる40年を超える配水管があることから、平成21年度より重要な管路を優先的に耐用年数など見据えながら計画的に更新していくこととしている。また、平成17年度以降に布設した配水管は、すべて耐震

性にすぐれた耐震継ぎ手管(左図)で施工している。



耐震継ぎ手管のしくみ

### 公園に健康遊具の整備を

**問** 最近、公園には散歩の途に気軽にストレッチやひねり運動など健康増進のための運動ができるように健康遊具が設置されてきている。

**答** 国土交通省の調査では、平成10年には全国で5,690基設置されていたものが、平成16年には9,618基と1.7倍の増加と報告されている。

そこで、市内の公園での健康遊具の設置状況と設置計画について伺いたい。

**答** 市内の公園の健康遊具の設置状況は、156公園中上平公園など7公園に設置されて

いる。また今年度整備する上平第三区画整理地内のやまの下公園にも背伸ばしベンチと斜め懸垂用のツインバーの2種類の健康器具を設置する予定である。

新しく公園整備を行う際や既存公園の遊具のリニューアルを検討する際には、該当となる公園を利用する方々の年齢構成や地域の要望などを踏まえながら健康遊具を整備していきたい。



上平公園の健康遊具

## 原市沼の蓮池の移転

**問**

原市沼の古代蓮は「原市沼を愛する会」が復元に取り組み、年々開花数も増えてきている。ところが原市沼は県の調節池の計画地内にあり、この計画では蓮池は土手または調節池内に入ってしまう。そこで、原市沼調節

池事業の進ちよく状況と古代蓮を咲かせているこの取り組みについて伺いたい。

**答**

原市沼の蓮池は、はらいち台団地東側の新幹線高架脇にあり、はらいち台団地の開発により調整池として市に帰属され、平成6年度から「原市沼を愛する会」に無償で貸し出し現在に至っている。また、蓮池のある場所は、原市沼調節池事業計画で原市沼川の河道に取り込まれる計画となっており、貸借条件では調節池計画に支障がある場合は移転することで合意されている。

しかしながら、蓮池は新聞報道で取り上げられていることや毎年の開花時期には、多数の来場者があり「原市沼を愛する会」から移転の見直しを含めて計画変更の要望が出されていることも認識している。今後、関係機関との協議の中で、治水安全度の向上と自然環境を考え検討していく。

## 都市計画マスタープランにおける道路網

**問**

都市計画マスタープランの地域別方針図(大谷地域)には、県道川越上尾線より南側に都市計画図にない道路が描かれている。この道路は以前より地域の交通改善にとって極めて有効であり、快適な生活環境のために必要

と考えてきた。それなりの計画を込めて描いたものと思うがこれらの道路についてはどのように考えているのか伺いたい。

**答**

都市計画マスタープランの地域別方針図に記載されている道路は、大谷地区の交通改善に係る主な路線として、都市計画道路中新井小泉線から南に位置するさいたま市の大宮花の丘公園方面へ向かう路線と国道16号線から西側の上尾道路に向かう2路線が位置付けられている。

これらは大谷地区における基本目標である「地域の人々が移動するための道路網の整ったまち」の中で、都市計画決定を前提として構想段階の計画として描かれたものである。市全域の道路網構想は、その後の長引く経済の低成長や少子高齢化の進展など、社会経済情勢の変化が著しく、計画的推進が難しい状況にある。今後、第5次上尾市総合計画に合わせ平成22年度末の改訂を目指している都市計画マスタープランの中で、市全域の道路網構想については、総合的見地から必要に応じ見直しを行う予定である。

## 平方スポーツ広場の整備は

**問**

平方スポーツ広場の野球場は、大会などで球場が少

ない場合、1つのグラウンドをA面、B面として利用しているが、北側の面にはバックネットもベンチもないため、簡易ネットやいすの運び入れをしている現状であり、利用者から常設バックネットを要望されている。北側の面にバックネットなどを整備することについて伺いたい。

**答**

平方スポーツ広場は、週末には、野球、ソフトボール、サッカーなど子どもから大人まで様々な団体に利用され、春や秋のシーズンには大会が開催されるなど西側地域におけるスポーツ振興の拠点施設となっている。

野球場北側部分は、本来は野球場外野方面に相当するためバックネットなどは設置していないが、より実情にあつた利用ができるよう関係団体の意見を取り入れながら整備に向け早急に検討していきたい。



平方スポーツ広場の野球場

## 福祉・保健

### こども医療費の対象年齢の拡大時期は

**問**

アトピー性皮膚炎やぜんそくなど、何らかのアレルギーを持ち小学生になって受診を続ける子どもや、思春期が近づくとつれてメンタルな病を抱える子どもが増加している。

こども医療費は、時代の流れに即して、乳幼児にとどまらず、小学生や中学生まで視野に入れた制度へと拡充を図る必要があると考えている。

**答**

市長は2010年をめどに中学校卒業まで実施する公約を掲げられているが、対象年齢拡大の範囲や開始時期について伺いたい。

こども医療費は、市長マニフェストの中でも子育て世代を応援するとして、中学校卒業まで入院、通院の医療費を無料化することを掲げている。

こども医療費の対象年齢の拡大を進めるため、財源の確保と併せて対象年齢を段階的に拡大するなど手法について検討を重ねているところであり、他の施策との調整を図りながら総合的に判断し、なるべく早い時期に結論を下し実施していきたい。

傍聴席からひとこと

市議会の存在価値が見いだせた

最近、地域リサイクル等にかかわる機会があり、地方行政に関心を持つようになり初めて傍聴しました。



なかもと ひろあき  
中本 博皓さん  
(小敷谷)

一般質問を傍聴した感想を一言述べます。

丸山公園の整備についてなど5項目についての質問でしたが、市民の安心安全という視点を踏まえて行われたことに市民のための市議会の存在価値を見いだすことができ、傍聴の意義の大きさを感じました。

一般質問の真剣な内容に感動



さasaki けんじ  
藤沢 健三さん  
(今泉)

市政に少しでも関心を持つべきだと思い初めて傍聴しました。

質問と答弁はプロ相互のやりとりでやむを得ないと思いますが、身近な生活で直接どこが変わるか、良くなるのかを知りたいと思いました。

一般質問の真剣な内容に感動いたしました。

**\* 次回の3月定例会は、  
2月25日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、2月19日(木)までとなります。  
詳しくは、議会事務局(☎775 - 9467)へお問い合わせください。  
なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。  
上尾市議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～議会報編集委員～

- 嶋田 一孝、町田 皇介、箕輪 登
- 新井 金作、長沢 純、井上 茂
- 糟谷 珠紀、秋山 もえ

—「議会だより」は再生紙を使用しています—



建設水道常任委員会の上尾駅改修工事現地調査の様子

委員会活動

H20.10.16 H21.1.15



総務常任委員会の審査の様子

委員会名	月・日	案件
総務常任委員会	12.5	●12月定例会提出議案1件を審査
文教経済常任委員会	12.8	●12月定例会提出議案2件を審査
建設水道常任委員会	12.5	●上尾駅改修工事及び北上尾駅改修工事を現地調査後、12月定例会提出議案2件を審査
福祉消防常任委員会	12.8 12.16	●12月定例会提出議案4件、請願1件を審査 ●12月定例会追加提出議案1件を審査
議会運営委員会		●議会運営について協議(協議回数5回)
議会報編集委員会	11.6 ~7 12.19	●議会広報紙、インターネット等を利用した議会広報活動について視察(金沢市、射水市) ●「あげお議会だよりNo.145」の内容について協議

意見書1件を原案可決

12月定例会最終日の12月19日、議員提出議案として意見書5件を提出し、1件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

安心の介護サービスの確保を求める意見書  
提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣